



龍郷町立龍南中学校学校便り
令和3年10月4日号



～ 変わりゆく季節と共に ～

校長 富士 篤也

龍南中では、この季節、校内に合唱の歌声、ピアノ伴奏練習の音色、グラウンドでのソフトボールの元気な声が響いています。

7月後半から8月の、あのうだるような蒸し暑さが台風で吹き飛ばされたかのように、朝夕はめっきりと秋らしくなり、肌寒ささえ感じるようになりました。1日の気温差が大きい日が続いています。コロナ対策とともに、気温差で体調を崩さないように十分に気を付けてほしいと思います。

さて、コロナ禍の現在、様々な教育活動が制約を受けて中止や延期を余儀なくされている中、龍南中は熱意と工夫で、3密を避けつつ、学習の成果がこれまでと同等に上げられるような取組をしています。本年度の『体育大会』は、11/7（日）、半日日程となりますが、昨年同様、時短を感じさせない生徒一人一人が躍動する演技と競技で大きな成果をあげるよう準備を計画的に行っています。また、10/22（金）には、『文化祭』も予定されています。これまでの学習・体験を生かし、生徒が満足感、成就感を味わえるように、創り上げていく過程を大切に取組を進めています。



今は「秋」、日本には、「春・夏・秋・冬」、大きく四つの季節があるとされています。それぞれの季節が、美しい自然の景色を楽しませてくれます。四季の移り変わりを感じながら日々を過ごしていると、日本で暮らすことの喜びを覚えずにはいられません。四季があるのは日本だけではなく、日本の四季は美しい」と表現されることは多くみられます。日本は温帯に属しているので、季節の変化が比較的はっきりしています。ですから、年間を春夏秋冬の四季に4等分することができます。

しかし、熱帯では一年を通して気温の変化が少なく、雨量の変化が激しいので雨季と乾季に区分されます。また寒帯では、春と秋を感じることが難しく、高緯度の地域では夏が極端に短くなります。つまり、四季がある国は日本以外にもありますが、日本は特に「春」「夏」「秋」「冬」の四季をしっかりと感じるができるのです。このメリハリのある季節が日本人の感受性豊かで、繊細な感覚を育て育み、日本の文化へとつながっています。季節が巡るとき、私たちはそれを意識し、一つ一つの季節を感じ、心豊かに過ごしていきたいものです。

学校では、秋が日に日に深まるように、経験と体験が「学び」へと昇華し、協働のもとで「実り」に熟していくように支援していきたいと思っています。季節の移ろいを豊かな心で感じるとともに、「学び」が熟した「実り＝生徒の成長」を保護者や地域の皆様とともに享受できることを期待したいと思います。

教育目標

「ふるさとを愛し、学ぶ意欲と確かな判断力・実践力をもち、心身ともに健康で人間性豊かな生徒を育成する。」
キャッチフレーズ
「世界に拓く「龍風の丘」！」
～ 子どもの持つ良さを見つけ、認め、伸ばす教育の実践～

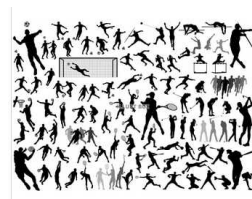
キーワード

「あたりまえを、あたりまえに
あたりまえを、ひたむきに！」

～ 秋と言えば ～

暑かった夏に比べて過ごしやすく、涼しく感じることも多くなってきましたね。街のお店の装飾は、ハロウィンや落ち葉など秋を連想させるものが多くなり、買い物をしていても「秋」を感じることができるのではないのでしょうか。

秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋・読書の秋・学びの秋・芸術の秋など〇〇の秋といわれます。スポーツや読書、芸術など季節に関係ないように思われるもので、「〇〇の秋」といわれることがありますよね。どうして、「秋という季節と結びつくことになったのでしょうか？」もともと秋



は暑すぎず、寒すぎない気候から、スポーツをしやすい季節といわれていました。そのため、スポーツをするのに最適な季節と考えられていました。しかし、スポーツの秋といわれるようになったのは、気候だけではありません。それは、1964年に行われた「東京オリンピック」がきっかけとされています。当時の東京オリンピック開

会式は、1964年10月10日に行われました。これを記念して1966年に10月10日が「体育の日」と定められました。ただし、体育の日は2000年から、10月の第2月曜日と改められ、体育の日の日程が変動するようになりました。しかし、法律で定められた体育の日の目的は変わらずに「スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう」とされています。

その他でも「〇〇の秋」と言われたものに、読書・学びの秋と呼ばれるものもあります。日本の四季の中でも適度の気温、メリハリのある気温変化は、人の脳にほどよい刺激を与え、活性化させます。

中間テストでは、日々の授業で学習したことを確認し、3年生の実力テストでは進路決定における各自の実力を判定し、入試に向けて学習の補充にあてる目的があります。それぞれの学年も1年間の振り返り地点、6ヶ月を経過します。1・2年生は、来年、次の学年に進級するために、しっかりと学び方を身に付け、知識を積み重ねていきましょう。3年生の皆さんは、早い入試は4ヶ月後、卒業まで残り6ヶ月、残された中学校生活で、3月の君たち、来年以降の君たちの進路・姿が変わってきます。

季節、タイミング、ふさわしい時を逃さず、自分自身のためにいろんなことに挑戦してみましょう。

「今、学ばないで、いつ学ぶ？」

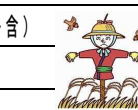
「今、でしょ！」「今しかないでしょ！！」

「未来の君を決めるのは今の君です！！」



10月（神無月）October 予定

日	曜	行 事 等
3	日	小学校運動会 テスト前部活中止
4	月	コアスクール授業公開
6	水	中間テスト①
7	木	中間テスト② 龍進未来塾
9	土	土曜授業
12	火	着付け教室（3年）
13	水	出前授業（3年：奄美・大島高校）
14	木	県教育センター移動講座
15	金	高校訪問（3年：大島北高校）
16	土	青少年健全育成の日
17	日	家庭の日
19	火	学年朝会
20	水	全校朝会、文化祭りハール
21	木	文化祭準備、龍進未来塾
22	金	文化祭（校内井論・英語スピーチ・合唱コンクール含）
25	月	生徒会専門部会
28	木	龍進未来塾



ちょっと、一冊！

『なぜなに日本語 もっと』

関根 健一 著

読売新聞教育面の連載を書籍化した「なぜなに日本語」の続編です。右ページは小4以上の漢字に読み仮名の付いたジュニア向けで、左ページは大人向けの詳しい解説となっています。日本語の面白さ、奥深さに触れることができますよ。

<例>『どこから出す？奥の手』

うまいかないから、そろそろ奥の手を出すか。・・・めったに使わない、とっておきの手段を「奥の手」と表します。奥の方にも、もう1本、手が隠れているわけではありません。もともとは、左手のことを言いました。

吾妹子は釧にあらむ左手のわが奥の手に纏きて去なまを
(万葉集)

「吾妹子：わぎもこ」は、奥さんや恋人を呼ぶ言い方です。あなたが「釧：腕輪」だったら、私の大切な左手に巻き付けていくのになあ～といった歌です。左手を神聖な手、大事な手、奥の手と呼んでいたのです。

